

学校経営推進費 事業計画書

1. 事業計画の概要

学校名	大阪府立港高等学校
取り組む課題	グローバル人材の育成
評価指標	① 実用英語能力検定準2級・2級の合格者数・合格率 ② 国際交流企画の回数、海外スタディツアーの参加者数の伸び ③ 実力判定テストの英語のGTZ（学習到達ゾーン）の比率 ④ 学校教育自己診断での肯定的回答
計画名	～漕ぎ出せ 世界へ！ みなと国際人プロジェクト～

2. 事業計画の具体的内容

学校経営計画の 中期的目標	<p>1 確かな学力の育成</p> <p>(3) 国語力、英語力の向上とともにプレゼンテーション能力を育成する。</p> <p>ア 英語検定、漢字検定(進路部主導)を利用し、朝学習(教務部主導)を活用した学習習慣の確立をめざし、合格率の向上に取り組む。</p> <p>イ 生徒の主体的・協働的な学びを通して発表の機会を多くするなど、全ての授業で言語活動を重視した取組みを推進する。</p> <p>※ 検定の合格率を5Pずつ向上させ3年後には目標とする級の合格率 15P増をめざす。</p> <p>※ 学校教育自己診断(生徒)「授業で自分の考えをまとめたり発表する機会がある」(H29: 53%・H30: 50%・R1: 60%)を3年後には70%にする。</p> <p>2 自己を確立し未来を切り開く力の支援→豊かでたくましい人間性の育み→夢や目標を持った生徒の育成</p> <p>(4) 「元気な学校づくり」特別活動や生徒会活動で自己有用感を醸成し集団や学校への帰属意識を高める。</p> <p>イ 学校行事で「人を育てる」「学校が楽しい」と実感できるものにする。</p> <p>(6) 「違いを認め合い他者を理解できる豊かな心」を育む</p> <p>イ 「グローバル人材の育成」国際的な視野を育むとともに、問題発見・解決能力、論理的思考力、探究力、コミュニケーション能力の育成をはかる。</p> <p>3 学校の組織力向上と開かれた学校づくり → 信頼される魅力ある学校づくり</p> <p>(3) 広報活動と地域連携の充実(学校経営推進費の有効活用)</p> <p>イ 国際交流を通して地域連携を推進し、地域から愛される学校をめざす。創立110周年を見据え、生徒・保護者・教員・同窓会等の連携体制を推進していく。</p> <p>※ 学校教育自己診断(保護者)「港高校のHPをよく閲覧する」(H29: 43%・H30: 51%・R1: 45%)を3年間で60%とする。</p>
事業目標	<p>令和2年度「府立学校への指示事項」の重点(2)の「グローバル人材の育成」にもあるように、グローバル化に対応した英語教育を推進し、国際共通語としての英語によるコミュニケーション力の育成を図るため、積極的な言語活動や海外研修や国際交流の受け入れを実施することは、まさに本校のめざす国際的な視野を育むとともに、問題発見・解決能力、論理的思考力、探究力、コミュニケーション能力の育成の方策となっている。</p> <p>本校はこうした学習や交流を実施することをめざしている。こうした生徒育成の理念のもと、指標としては実用英語能力検定の2級・準2級取得を目標として掲げる。(R1英検準2級以上8名→R2同20名→R3同30名→R4同40名と3年後合格者倍増をめざす)</p>

取組みの概要	整備する 設備・物 品	<ul style="list-style-type: none"> い 視聴覚教室をウェルカムホールに改修（内装の変更、マルチメディア機器の装備など） い ランゲージ e-learning ルームの整備（机・椅子、無線 LAN アクセスポイント、ヘッドセットなど） い 玄関ホールにデジタルサイネージを設置。（歓迎や交流国の情報・スケジュール等が周知できるように増設） い 英語検定に向けて授業での取組みはもちろん、外部人材の活用による英語検定講座を実施する。
	前 年 度	<p>（○は継続項目、●は新規追加項目）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 国際交流委員会（PTA・同窓会・後援会による国際交流事業の支援団体）の立ち上げ。 ○ 12月に台湾スタディーツアーを初めて行った。5名参加。 ○ 5月に台湾の高校生との交流行事（港高校内）大阪観光コンベンション協会との連携事業 ○ 実用英語能力検定の全員受験の準備 など
	初 年 度	<ul style="list-style-type: none"> ○ 台湾スタディーツアーの報告会 ●ランゲージ e-learning ルームの活用 ○ 12月に台湾スタディーツアー企画 ●地域への積極的な情報発信 ○ 5月に台湾の高校生との交流行事（港高校内）大阪観光コンベンション協会との連携事業 ● 実用英語能力検定の1・2年生全員受験（480名）実施 ●ユネスコスクールへの加盟 ● 実用英語能力検定用外部講師による英語検定講座の実施
	2 年 め	<ul style="list-style-type: none"> ○ 台湾スタディーツアーの報告会 ○ランゲージ e-learning ルームの活用 ○ 12月に台湾スタディーツアー企画 ○地域への積極的な情報発信 ○ 5月に台湾の高校生との交流行事（港高校内）大阪観光コンベンション協会との連携事業 ○ 実用英語能力検定の1・2年生全員受験（480名）実施 ○ 実用英語能力検定用外部講師による英語検定講座の実施 ○ 公益財団法人 大阪観光コンベンション協会との連携による交流の受け入れ ● 探求型の総合的な学習＝国際理解教育の講演会の開講 ● 留学生（グローバル化をめざす中小企業の人材確保事業－大阪商工会議所）との交流 ● 創立110周年記念行事で国際交流活動の発表
	3 年 め	<ul style="list-style-type: none"> ○ 台湾スタディーツアーの報告会 ○ランゲージ e-learning ルームの活用 ● 12月に台湾スタディーツアー企画、8月にグアムなど新しいスタディーツアー企画 ○ 地域への積極的な情報発信 ○ 5月に台湾の高校生との交流行事（港高校内）大阪観光コンベンション協会との連携事業。 ● 11月に韓国高校生との交流行事（港高校内）大阪観光コンベンション協会との連携事業。 ○ 実用英語能力検定の1・2年生全員受験（480名）実施 ○ 実用英語能力検定用外部講師による英語検定講座の実施 ○ 公益財団法人 大阪観光コンベンション協会との連携による交流の受け入れ ○ 探求型の総合的な学習＝国際理解教育の講演会の開講 ○ 留学生（グローバル化をめざす中小企業の人材確保事業－大阪商工会議所）との交流
	取組みの 主担・実 施者	<p>主担者：既存の将来構想委員会、国際交流委員会、生徒部自治会G 実施者：教頭と首席および委員会・自治会メンバー</p>
成果の 検証方法 と評価 指標	初 年 度	<ol style="list-style-type: none"> ① 英語検定2級合格者5名 準2級合格者15名合格をめざす。 ② 国際交流企画の回数、海外スタディーツアーの参加者数の伸び ③ 実力判定テストのGTZ（学習到達ゾーン）の比率→英語の学習到達度をDゾーンからCゾーンへ10P、CゾーンからBゾーンへ5P引き上げる（R1年度比） ④ 学校教育自己診断で「港高校へ行くのが楽しい」「港高校の生徒であることに誇りを持っている」の肯定的回答 → 其々5P向上させる。

	2 年 め	<ul style="list-style-type: none"> ①【同指標】英語検定2級合格者8名 準2級合格者22名合格をめざす。 ②【同指標】参加者数10名をめざす。 ③【同指標】R1年度比15P・10P向上させる。 ④【同指標】R1年度比10P向上させる。R2年度比5P向上させる。
	3 年 め	<ul style="list-style-type: none"> ①【同指標】英語検定2級合格者10名 準2級合格者30名合格をめざす。 ②【同指標】参加者数15名をめざす。 ③【同指標】R1年度比20P・15P向上させる。 ④【同指標】R1年度比15P向上させる。R2年度比10P向上させる。